

市民活動団体の通信簿（セルフチェックシート）

団体名 押日地域有害鳥獣被害防止対策協議会

団体及び事業の概要：押日地区の14名で構成する捕獲チームです。
イノシシ等による農業施設や農作物等への被害の拡大、地域住民の人的被害が危惧されるため、地域住民の共助で捕獲に努めています。

代表者名

林 博

記入日

4年3月4日

評価項目と評価の観点	評価
1. 団体運営 総会、役員会等を開催し、団体の事業報告・決算及び事業計画・予算を決議の上、事業を執行している。	A
2. 情報公開 紙媒体やウェブサイト、SNS等を通じて、団体の基本的な情報や活動内容を公開している。	A
3. 目的 団体の目的を明文化し、各事業のふりかえりや見直しを実施している。	A
4. 法令遵守 事業の執行にあたり、法令を遵守している。	A
5. 会計処理 資金の管理について、複数人によるチェック体制があり、会計年度ごとに監査を行っている。	A
6. 市民参加 事業の対象となる地域の課題やニーズを関係者から汲み取り、多様な市民の参加を得ている。	A

自己評価に関する
団体コメント

3年度はイノシシ3頭、アライグマ等7匹でした。

対策前は昼間から群れて人間の近くまで出没していたイノシシはいなくなりました。今後他の自治会等でも共助で捕獲組織が結成されることを期待しています

「市民活動団体の通信簿」は、団体の運営が適切に行われているかを点検するため、会計年度の終了後に、項目別に4段階※で自己評価を実施するものです。

自己評価の結果を、市民活動支援センター「まちびと Caffé」のウェブページ等で公開することにより、透明性の高い団体であることを広く周知することができます。

※4段階の自己評価

- A：適切であった
- B：改善を要する
- C：抜本的な見直しが必要
- D：不適切であった

当団体は、以上のセルフチェックの内容について、市民活動支援センターのウェブページ等で公表することを了承しました。